

麻布 2019 年

問 1 a: 肥料 b: 粉 c: 保存 d: 口調

問 2 父の仕事での失敗。

問 3 ア

問 4 新しい町を自分の居場所とは思っていないから。

問 5 学校での居場所を得るために多恵と友達になったが、話もかみあわず、訳のわからない太鼓を聞きに行くのは気が進まなかったから。

問 6 三人の姿にかわいい少女だった娘の姿を重ね、なつかしく感じているから。

問 7 169 行

問 8 おじさんの方言を馬鹿にし、平気で厚意をふみにじる友人たちに違和感を覚えながらも同調してしまった自分を罰するのに相応しい罰だと思ったから。

問 9 1 駅の改札で父を待つ女の子の真剣なまなざしを見たこと。

2 仕事がうまくいかず、町に帰るお金がなかったとしても、どうにかして父に帰ってきてほしいと恋しく思う気持ち

問 10

父を待つ女の子の姿と多恵の姿が重なり合い、多恵の抱えるさびしさに気づき、多恵の父が得意だったという太鼓と一緒に聞きに行き、あげたいと考え直したから。

問 11

以前住んでいた街から、まだなじめない新しい町に帰ってくるナナコのさびしさを思いやって、少しでも温かくむかえようとしている。

問 12

ヒナコが新しい町と友人に向き合おうとしているとわかり、付き合ってみなければ良い所も悪い所もわからないのだからと励ましてやりたい気持ち。

問 13

1 新しい町を頭から否定するのではなく、前向きに良いところを見つけようとしている。

2 父の仕事がうまくいかず引っ越すことになり、転校させられたナナコは納得がいかず、新しい町になじもうとしなかったが、多恵の父やハローおじさんように仕事がうまくいかず家族と離れ離れになっても、相手を思いやる姿を見て、家族と一緒に暮らせる幸福や家族のかけがえのなさに改めて気づいたから。